おっぱい通信 Vol. 62 2023. 1号

♡ 赤ちゃんにやさしい病院として ♡

BFH（Baby Friendly Hospital）
赤ちゃんにやさしい病院

岩手県立磐井病院
母乳育児推進委員会
委員長 天沼 史孝

新型コロナウイルス感染症 予防注射編

新型コロナウイルスワクチン接種と
妊婦さんと授乳への影響

日本産婦人科学会・日本産婦人科感染症学会からの提言
①妊婦に対する安全性、特に、中・長期的な副反応、胎児および出生児への安全性は確立していない。
②現状を踏まえれば、接種対象者から除外すべきではない。ただし、器官形成期（妊娠12週まで）は接種を避ける。
③重症化リスクがある場合はワクチン接種を考慮する。
④パートナーは家庭内感染を防ぐために接種を考慮する。
⑤妊娠を希望する女性は、可能であれば妊娠する前に接種する。
と5項目が提示されています。

WHO
妊娠中の女性は、妊娠していない出産可能年齢の女性と比較して、重度のCOVID-19のリスクが高く、COVID-19は早産のリスクの増加と関連しています。
授乳中のワクチンの安全性や母乳で育てられた子どもに対するワクチンの効果に関するデータはありません。授乳中の子供にリスクをもたらす可能性はほとんどありません。

今後の予定
★母乳育児支援研修会WEBセミナー
第1回2021年2月6日（土）
第2回2021年3月13日（土）
第3回2021年6月5日（土）
13:00～16:20

院内の妊婦の皆様、当院での妊婦健診を　受けられている方もいない方も、是非おっぱいについて話しましょう！
わからないこと、聞きたいことがありましたら是非ご相談を！
母乳育児推進委員会